

2021年(令和3年)度 事業報告

第11期(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1)交響楽演奏会等の開催

1)主催公演 全20公演

◆定期演奏会(第247回～第254回) (8公演開催)

ザ・シンフォニーホールにおいて開催している楽団の音楽的根幹となる演奏会。2021年度は、8プログラム8公演を計画しましたが、全公演開催こそは実現できたものの、新型コロナウイルスの影響により、外国人の入国制限が続き、すべての外国人アーティストが来日できなくなりました。

2020年3月のコロナ禍以降、大阪交響楽団においては未だに、一人の外国人指揮者・ソリストの入国・出演も叶っていません。しかしながら、2022年5月現在外国人の入国規制も緩和され、6月29日の定期演奏会において、タマーシュ・ヴァルガ氏(ウィーンフィル首席チェロ奏者)が初めて登場することになりそうです。外国人アーティストが来日不可能となって、8公演中5公演において日本人アーティストが代演をし、なかでも第247回定期演奏会に代演したことがきっかけとなり、山下一史氏が、2022年4月より「常任指揮者」に就任することが決まりました。2020年度後半以降、ザ・シンフォニーホールの客席は制限なく、100%で販売をしておりますが、入場者数は600名台前後で推移しており、コロナ禍以前の約半分となっております。2022年4月から、アフターコロナを目指し、広報活動に重点を置き、反転攻勢をかけております。

第247回 2021年 4月12日(月) 指揮:山下 一史(オーラ・ルードナー氏来日出来ず)

第248回 2021年 7月 1日(木) 指揮:太田 弦 フルート:小山 裕幾

(クラリネット:ダニエル・オッテンザマー氏、ファゴット:ソフィー・デルヴォー氏来日出来ず)

第249回 2021年 7月29日(木) 指揮:大友 直人(ガブリエル・フェルツ氏来日出来ず)

第250回 2021年 9月 9日(木) 指揮:寺岡 清高(グイード・M・グイード氏来日出来ず)

ピアノ:岡田 奏(キム・ヒョンジュン氏来日出来ず)

第251回 2021年10月22日(金) 指揮:外山 雄三

第252回 2021年12月 2日(木) 指揮:阪 哲朗 ピアノ:菊池 洋子

第253回 2022年 2月 4日(金) 指揮:篠崎 靖男(汐澤安彦氏怪我のため降板)

第254回 2022年 2月18日(金) 指揮:キンボー・イシイ(ジョナサン・ヘイワード氏来日出来ず)

ヴァイオリン:南 紫音

◆名曲コンサート(第112回延期公演、第116回～第120回) (12公演開催/うち2公演は前年度の延期公演)

ザ・シンフォニーホールにおいて土日・祝日の午後と夕方、1日2回公演で開催している、クラシック入門者に向けた名曲コンサート。コロナ禍において、単券のチケット販売・広報がほとんどできず、2020年8月から発売開始したセット券による入場者がほとんどとなりました。(いわゆる固定ファン)

2020年度の延期公演(第112回)を含む、6プログラム12公演を開催。そのうち2プログラム4公演は延期となりましたが年度内に延期公演を開催することが出来ました。名曲コンサートでもやはり、外国人アーティストの来日が不可能となり、ほとんどの公演で代演の日本人指揮者・ソリストの出演となりました。

第117回 2021年 7月24日(土) 指揮:高橋 直史(ガブリエル・フェルツ氏来日出来ず)

第118回 2021年 8月29日(日) 指揮:横山 奏 ピアノ:酒井 有彩(アンドレイ・ググニン氏来日出来ず)

第119回 2021年11月3日(水・祝) 指揮:大井 剛史 ピアノ:高木 竜馬(チェ・ヒョンロク氏来日出来ず)

第116回 2021年12月27日(月) 指揮:太田 弦 ピアノ:高木 凜々子

(当初2021年5月29日に開催予定だったが、緊急事態宣言発令のため延期して開催)

第120回 2022年 1月 9日(日) 指揮:三ツ橋 敬子(オーラ・ルードナー氏来日出来ず)

ヴァイオリン:森下 幸路 ソプラノ:高嶋 優羽

第112回 2022年 1月13日(木) 指揮:松村 秀明(小林 資典氏帰国出来ず) ピアノ:田村 響

(当初2020年8月1日に開催予定だったが、緊急事態宣言発令のため、2021年4月28日に延期し、さらに延期して開催)

2) 共催公演 ◆オーケストラ7公演、◇アンサンブル4公演

◆第59回 大阪国際フェスティバル2021「4オケの4大シンフォニー2021」 (1公演開催)

フェスティバルホールにおいて朝日新聞文化財団と在阪4つのオーケストラ他との共催で「4オケの4大シンフォニー2021」を開催。コロナ禍において予定していた指揮者、オーラ・ルードナー氏の来日が叶わなかったため、元ミュージックアドバイザー・首席指揮者の大山 平一郎氏が指揮台に立つことになりました。

今回のプログラムは、大阪の4つのオーケストラが、交響曲を1曲ずつ取り上げる祭典で、大阪交響楽団はメンデルスゾーン作曲、交響曲第4番「イタリア」を演奏。通常であれば毎回売り切れる公演ですが、コロナ禍の影響をうけ8割ほどの入場者となりました。

2021年4月17日(土) フェスティバルホール 指揮:大山 平一郎(オーラ・ルードナー氏来日出来ず)

主 催 : 朝日新聞文化財団、朝日新聞社、フェスティバルホール

大阪交響楽団、大阪フィルハーモニー協会、関西フィルハーモニー管弦楽団

日本センチュリー交響楽団

◆ライト・シンフォニックコンサート～大人の贅沢（1公演開催）

ザ・シンフォニーホールにおいて、指揮者に太田 弦、ゲストには、元劇団四季でミュージカル界のスーパースター岡 幸二郎氏を迎え、ミュージカルナンバーの数々を披露。ザ・シンフォニーホール制作の共催公演として8回目の開催となりました。

2021年7月31日(土) ザ・シンフォニーホール 指揮:太田 弦 ソリスト:岡 幸二郎

主 催 : ザ・シンフォニーホール/公益社団法人 大阪交響楽団

◆オーケストラ・キャラバン 東京公演/金沢公演/島根県安来公演（3公演開催）

文化庁「大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業」

文化庁の補助金事業(大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業)で、公益社団法人 日本オーケストラ連盟が取りまとめて開催された「オーケストラ・キャラバン事業」。大阪交響楽団は3公演を受託し、高橋 直史指揮で東京と金沢での公演で、マーラー作曲 交響曲第4番ほかを演奏。2015年10月の「アジアオーケストラウィーク」に出演した東京公演以来6年ぶりの東京公演を果たした。島根県安来市では、太田 弦(正指揮者)の指揮でチャイコフスキー 交響曲 第5番ほかを演奏、アルテピア開館記念演奏会にも出演し開館前からのつながりで、深い関係性を続けている安来市と今後の展開も含めた有意義な演奏会となった。

2021年8月19日(木) 東京オペラシティ コンサートホール:タケミツメモリアルホール

2021年8月20日(金) 石川県立音楽堂 コンサートホール

指揮:高橋 直史 ソプラノ:並河 寿美

主 催 : 公益社団法人 日本オーケストラ連盟/公益社団法人 大阪交響楽団

2021年12月10日(金) 島根県 安来市総合文化ホール アルテピア

指揮:太田 弦 ヴァイオリン:辻 彩奈

主 催 : 公益社団法人 日本オーケストラ連盟/公益社団法人 大阪交響楽団

共 催 : 安来市総合文化ホール アルテピア

◆il Teatro L'alba L'amore“オペラ×オーケストラ”（1公演開催）

2020年9月に、堺シティオペラ一般社団法人、野間バレエ団、堺市民芸術文化ホールフェニーチェ堺との共催で第一回を開催した後継企画。堺市に本拠地をおく大阪交響楽団と堺シティオペラが手を取り合って一つの舞台を作り上げる“Teatroシリーズ”。

今回は、柴田 真郁の指揮で、プッチーニ作曲 歌劇「トゥーランドット」(セミステージ形式)を上演。コロナ禍においても規模の大きな企画として、声楽・合唱・オーケストラと150名近い実演家が舞台に乗り、3時間にわたる大スペクタクルドラマを繰り広げました。その成果に対して、大阪府、大阪市及び関西・大阪二十一世紀協会より「2021(令和3)年度 大阪文化祭賞(第三部門)」を受賞(2013年以来6度目の受賞)いたしました。

2021年12月19日(日) 堺市民芸術文化ホール フェニーチェ堺 指揮:柴田 真郁

主 催 : 堺シティオペラ一般社団法人/公益社団法人 大阪交響楽団

共 催 : 公益財団法人 堺市文化振興財団(フェニーチェ堺)

特別協賛 : 大和ハウス工業株式会社

◆フェニーチェ堺 シネマ・コンサート「ニュー・シネマ・パラダイス」 (1公演開催)

2019年10月にグランドオープンした「堺市民芸術文化ホール フェニーチェ堺」において、日本ノボパン工業株式会社の協賛を得て、公益財団法人 堺市文化振興財団(フェニーチェ堺)との共催で続けているシネマ・コンサート。今年度は「ニュー・シネマ・パラダイス」を上演いたしました。8割を超える販売で、客席はほぼ満席となりました。

2022年 1月16日(日) 堺市民芸術文化ホール フェニーチェ堺 指揮:栗田 博文

主 催 : 公益財団法人 堺市文化振興財団(フェニーチェ堺) / 公益社団法人 大阪交響楽団 /

BS朝日 / 朝日新聞社

協 賛 : 日本ノボパン工業株式会社

◇フェニーチェ堺 “音楽のあるひととき” (4公演開催)

2021年1月からスタートした、大阪交響楽団メンバーによる小編成アンサンブルシリーズ。徹底的な感染予防の上で、地元堺市民をフェニーチェ堺に呼び込み、もっと身近にクラシック音楽を感じてもらおうと、フェニーチェ堺と共同で企画。その第二弾は全4回シリーズ。

会場は、フェニーチェ堺施設内のあらゆる場所を想定、今年度は、文化交流室や大ホール2階ホワイエなども使い、普段と違った雰囲気でのコンサートをお楽しみいただきました。

2021年 9月 1日(水) ヴァイオリン:森下 幸路 クラリネット:村瀬 司 ピアノ:丸山 耕路

会場:フェニーチェ堺 小ホール

2021年11月17日(水) ヴァイオリン:伊藤 瑳紀 チェロ:増山 頌子

会場:フェニーチェ堺 文化交流室

2022年 1月12日(水) オーボエ:小谷 麻理子 ヴィオラ:坂口 雅秀 チェロ:荒木 雅美

コントラバス:渡戸 由布子 ピアノ:北口 裕子

会場:フェニーチェ堺 大ホール 2階ホワイエ

2022年 3月17日(木) ヴァイオリン:水村 良子、吉岡 克典、米川 さやか、伊藤 瑳紀

ヴィオラ:早田 類、南條 聖子 チェロ:大谷 雄一、金井 悠

会場:フェニーチェ堺 大スタジオ

主 催 : 公益財団法人 堺市文化振興財団(フェニーチェ堺) / 公益社団法人 大阪交響楽団

(2)交響楽等の演奏

1) 依頼公演(オーケストラ編成) 全72公演

オーケストラ編成の依頼公演、楽団収入の50%近くを占める

シンフォニーコンサート 15 公演

ファミリーコンサート 28 公演

合唱伴奏公演 3 公演

学校鑑賞会 1 公演

文化庁公演 14 公演

オペラ・バレエ公演 11 公演

収録・録音・配信公演 0 公演

2) 依頼公演(小編成) 全20公演

弦楽四重奏や金管五重奏などの小編成の依頼公演

(3) 青少年に対する音楽普及

アウトリーチ公演(学校や街中へ出向いて行う事業) 全57公演

さかいミーツアート、さかいアートスタートプログラム 10公演

文化庁“文化芸術による子供育成総合事業”ワークショップ 7公演

その他 アウトリーチ公演 40公演

(4) 機関誌及び音楽に関する出版物の刊行

プログラムマガジンの発行

| | | |
|------------------|--------------|-------|
| 2021年 4・5月号 | 2021年 4月1日発行 | 5400部 |
| 2021年 7月号 | 2021年 7月1日発行 | 3600部 |
| 2021年 8・9月号 | 2021年 8月1日発行 | 3300部 |
| 2021年 10・11・12月号 | 2021年10月1日発行 | 4900部 |
| 2022年 1・2月号 | 2022年 1月1日発行 | 6350部 |

事業報告の附属明細書

2021年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していません。